

モセリーヒゲナガトビケラ *Leptocerus moselyi* (Martynov)

【選定理由】

全国的に採集例が少ない。愛知県内では豊田市矢作川でしか採集されておらず、希少であると考えられる。

【形態】

雄成虫の前翅長は 5.6～6.5mm、雌は 5.0～5.6mm。前翅は黒色で基部および中央より 2 カ所にやや目立つ白色斑を持つ。また、翅の先端から後縁にかけて小白色斑が散在する。幼虫は未発見。



豊田市矢作川, 2007年6月, 西本浩之 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

豊田市矢作川からしか確認されていない。

【国内の分布】

北海道から本州中国地方にかけて生息が確認されている。

【世界の分布】

ロシア(アムール)および日本に分布する。

【生息地の環境／生態的特性】

比較的川幅があり、流量の多い河川に生息すると考えられる。成虫は 6～8 月に採集される。

【現在の生息状況／減少の要因】

個体数は少ないものの、矢作川では安定して採集される。

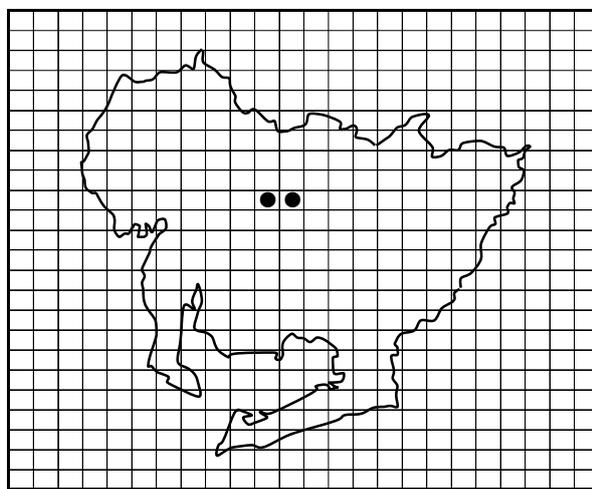
【保全上の留意点】

幼虫は確認されていないが、おそらく河川岸部の緩流あるいは止水域と推定される。岸部の改修は避け、自然環境を保全することが肝要である。

【特記事項】

豊田市矢作川は比較的安定した生息地と考えられる。

県内分布図



【関連文献】

Katsuma, N., 2006. 茨城県内で確認されたトビケラ類の記録(第 2 報) -常陸大宮市(旧御前山村) 相川のトビケラ相-  
るりぼし, 33: 33-44.

西本浩之・森田久幸, 2001. 1995～1999 年の調査における豊田市都市ブロックの矢作川周辺の昆虫類 4、都市ブロック河辺のトビケラ相. 矢作川研究, 5: 71-78.

野崎隆夫・中村慎吾, 2007. 広島県で採集されたトビケラ成虫の記録(第 2 報). 比和科学博物館研究報告, 48: 91-101.

Uenishi, M., 1993. Genera and species of leptocerid caddisflies in Japan. Proceedings of the 7th International Symposium on Trichoptera, Otto, C. (ed.), Backhuys Publishers, the Netherland. 79-84

(西本浩之)